

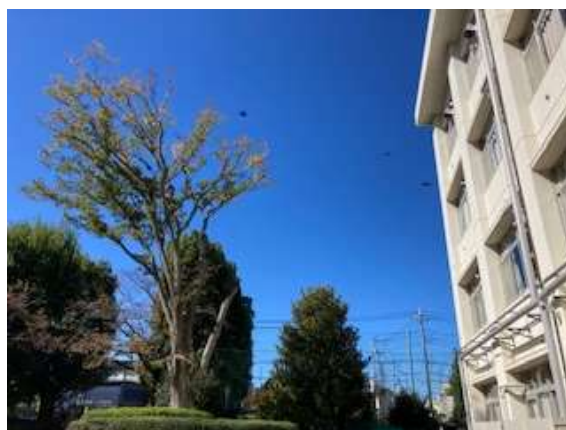
## 学校の様子 2年生 保健の授業のひとコマ（11月9日発行）

今回は、2年生の保健の授業を紹介します。

加齢と健康の単元でした。

高校生にとって、加齢はまだまだ遠い存在であり、それをどのように身近なものとして捉えさせるか、難しい単元です。

授業では、導入として、Google form（グーグルフォーム）を活用して、「65歳になったらどのような生き方をしていますか？」との問いが出されました。生徒たちは、黒板に表示されたQRコードを各自の端末で読み取り、それぞれ入力を進めます。



・美味しいものを食べている。・元気に健やかにしている。・先生みたいになっている。

などの回答がありました。

ちなみに先生は、65歳じゃありません。というツッコミもありながら、歳を重ねた時のイメージを共有します。どちらかというとプラスの感覚が多い印象です。

次に現実を知るために、データを見ます。年代ごとの死因の割合です。10歳代の死因と高齢者の死因の構成が異なることを知ります。高齢者の構成割合別の事故件数から、転ぶ、つまる、溺れるなどの割合が示され、お風呂で溺れるなどが具体例とともに示されました。

また、担当の教員からは、Google forms を活用して、「歳をとると衰える機能はなんであると思うか」という問いかけもありました。

生徒たちは、教科書を読み返したりしながら、思い思いのイメージを入力し、担当の教員が一つ一つ丁寧に補足をして共有していきました。

担当の教員は、生徒の解答の中から、単元に大切なキーワード、健康寿命やその一つの取り組みである8020運動などの紹介を行います。

ICTを活用することにより、生徒が考えたことやイメージしたことを瞬時に共有できます。生徒の考えをうまく利用して、これから自分の人生で起こる問題を知り、それに向けて今からできること、なぜ今学ぶのか、様々な視点から生徒に伝える授業でした。